

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（5月分）

留学先大学：Vytautas Magnus University

氏名：金子 のの子

こんにちは。5月-Gegužė-に入り、気温が20°を越える日々が続き、日も長くなってきました。3月25日からサマータイムが始まり、今は日本とリトアニアの時差が1時間短くなっています。今回は、人生初のスカイダイビング、そして、今期セメスターの振り返りを期末試験をふまえながらお伝えしようと思います。さあ、暑さに負けず、5月の報告書ははじめます！

【忘れられない景色】

5月19日(土)、留学中に必ずやると決めていたスカイダイビング...やってきました!! Youth Leisure Network という団体を通して Facebook から申し込みをし、車の送迎と GoPro のビデオ込みのプログラムです。価格は145ユーロ(約19,000円)で、日本でスカイダイビングをするよりもずっと安いのと、留学中だからこそという気持ちが強くて、やろうと決めました。日本の保険では、スカイダイビングやバンジージャンプが適用されないので、事故のことを考えると少し不安になったりもしましたが、いま生きているので大丈夫です！



薄いつなぎを服の上から着て、インストラクターから飛ぶときやパラシュートが開いたあとの姿勢のレクチャーを受けてから飛行機に乗り込みます。揺れがものすごい小型飛行機に乗ること約15分、上空3000mに到達し、いよいよです。インストラクターの間では、飛ぶ前に儀式があるようで、互いに拳を合わせた後にアロハサインをされていて、一緒に混ぜてもらったときは何ともいえない一体感と嬉しさがありました。

飛行機の扉から真っ白い雲に向かって飛び込んだあとの、何もせずにただ落ちていく数秒間はいちばん心に残る瞬間です。真っ逆さまに落ちていく感じと、雲の中を通り、周りの景色がぐるぐると変わっていく感じは、上手く言葉で表現できませんが、生と死の境目にいるような感覚でした。



【期末試験を終えて】

5月後半からテスト期間が2週間ほどあり、5つの**Final Exam**を受けました。中間テストと形式が同じなので、授業スライドとノートを復習したりして、どの科目も対策がしやすかったです。

・**Lithuanian Language** のテストは、筆記と会話の2つあり、先生と一対一で会話するのは少し緊張しましたが、先生が笑顔でうなずきながら聞いてくれたおかげで焦ることなく質問に答えることができました。リトアニア語は、名詞(男性・女性)や動詞、場面をどう表現したいかによって文末の語尾が細かく変化します。それらを理解することが難しい非母語話者に対して、その言語を教えることはもっと難しいことであるのに、学生の姿勢や理解度を気にしながら、楽しく学べるように授業を行う言語の先生はすごいと思います。

リトアニア語を学ぶときは、どうしても英語との関連性を見出そうとして、文法を考えるときも英語の構造だったらこうなると考えがちになります。単語の例を出すと、例えば **rugpjūtis**(8月)のように、**p** と **j** が続き発音しにくいものだと覚えるのが大変ですが、**studijuoti**(勉強する)は、英語の **study** と似た部分があるため覚えやすいのです。

新しい言語を自分の中に取り入れるためには、やはり使うことが大事だと感じます。ある時、学校終わりに小さなケバブ屋さんへ寄って、注文するときにリトアニア語を使うとお店のおばあちゃんが話しかけてくれました。その時は自己紹介ができる程度のリトアニア語だったので、授業で習った単語を絞り出して会話しましたが、たどたどしくても自分のリトアニア語が通じたことが嬉しかったのを今でも覚えています。授業で習ったことが使えると、それが学ぶことへのモチベーションにもなって、場面ごとの会話文(休日の予定を話す・レストランでの会話)を練習すると、日常の中で使うことができます。

・**European Identities** は、イギリス、フランス、ドイツなどヨーロッパ諸国の“ヨーロッパ人”としての意識は、“イギリス人”“フランス人”“ドイツ人”という **national identity** とどう関わってくるのかが後半のテーマでした。授業の中で触れたひとつの調査では、イギリスは **national identity** のほうが強く国民に根付いていて、ドイツは **national identity** と **European** の共存度が高く、ヨーロッパ統合に前向きであるという結果が示されていて、これらの国が異なる歴史をもち、異なる方法で発展してきたからこそ、国民の **identity** の捉え方に違いが出てくるのだという考えがよく理解できて、本当に興味深いテーマでした。イギリスの **Brexit** やドイツが第二次世界大戦の反省から、ヨーロッパ統合を保つのに中心的な役割を担ってきたことなど、さまざまな観点から **European Identities** を考えることができた授業だったと感じます。

【プチ旅行】

リトアニア南部にあり温泉街で有名な **Druskininkai**(ドルスキニンカイ)と、エストニアの首都 **Tallinn**(タリン)に行ってきました。写真どうぞ！



Druskininkai の小学校で日本文化交流(習字・折り紙・手裏剣・ダルマ落とし・福笑い)
みんな夢中になって遊んでいました😊



Tallinn の街並み・ピリタ海岸・ピリタ修道院
カウナスからバスで約 9 時間。街中をガイドしてくれる 2 時間のフリーツアーがおすすめです！